

2

No.526
FEB.2015

茨城経協

Ibaraki Employers' Association

<http://www.ikk.or.jp> Email info@ikk.or.jp

一般社団法人 茨城県経営者協会



CONTENTS

- 01 経団連「2015年版経営労働政策委員会報告」を公表
—生産性を高め、経済の好循環を目指す—
- 02 茨城大学寄付講座
「働く意義・学ぶ意味 ～次代のためのサイクル、順番である～」
関彰商事株式会社 代表取締役社長 関正樹氏
- 03 委員会報告
産業政策／労働企画／青年経営研究会
- 04 支部だより
県北／鹿行／支部合同事業
- 05 『会員増強運動2014』の状況
～900社の大台に向かって前進～
- 07 新入会員の紹介
- 08 県内NPO情報Vol.172<横田能洋>
「生活困窮者支援に関する新たな制度」
- 09 数に込められた思いと意味⑩<葛田一雄>
「送る」
- 11 セミナー・事業等のご案内

－生産性を高め、経済の好循環を目指す－

経団連は、1月20日「2015年版経営労働政策委員会報告」(略称、経労委報告)を公表した。経労委報告は、1974年に当時の危機的なインフレと大幅な賃上げを憂慮した経団連(当時、日経連)が、労使交渉の臨む基本的な方針を示した報告書を発表したことが始まりで、2015年版が41冊目となる。

同報告書の副題は「生産性を高め、経済の好循環を目指す」とし、経済の好循環の実現に向

けた賃金の引き上げについて、経済界として、一步前に踏み込んだ主体的な対応を図ること、デフレ脱却を確実なものにするとの意思を込めている。

2015年春季労使交渉・協議に対する経営側の基本姿勢については、自社が抱える課題に労使協調して取り組むため、「労使パートナーシップ対話」を充実させることが重要であると主張。さらに、厳しい国際競争の中で仕事の価値が変容している

ことなどを踏まえ、仕事・役割・貢献度を基軸とした制度への移行が求められ、また、賃金等を決定する際の基本的な考え方としては、引き続き総額人件費管理を徹底する必要がある、との考えを示した。

最後に、賃金自体が多様であるため、「賃金の引き上げ＝ベースアップ」といった単純なものとはならず、ベースアップは賃金を引き上げる場合の選択肢の一つとなる、との見方を示した。

【目次】

第1章 持続的な成長を実現する経営環境の確立

1. 経済の好循環実現に向けた重要政策課題
2. 雇用・労働に関する政策的な課題

第2章 生産性向上を実現する人材戦略

1. 「成長し続ける人材」の育成と活躍の推進
2. 健康でメリハリのある働き方の推進

第3章 2015年春季労使交渉・協議に対する経営側の基本姿勢

1. 労使パートナーシップ対話のさらなる促進
2. 多様化する人事・賃金制度
3. 総額人件費管理の徹底
4. 2014年春季労使交渉・協議の総括
5. 経営側の基本姿勢

(1) 労働側スタンスへの見解

消費税率引き上げ分の影響を除いた物価上昇率が1%未満で推移して

おり、また、企業間の業績格差が生じているなか、すべての労働組合に2%以上のベアを求めることは納得性が高いとはいえない。

(2) 物価上昇に対する考え方

物価の変動は、賃金決定の考慮要素の一つではあるが、その動向を機械的に反映すべきではなく、自社の付加価値を踏まえて総合的に判断すべき。

(3) 経営側の基本スタンス

- ・ 今次春季労使交渉・協議に臨むにあたって、企業労使は、デフレからの脱却を確実なものとし、経済の好循環の2巡目を回すことの重要性を踏まえていく必要がある。
- ・ 賃金等の労働条件は、企業労使が徹底的に議論したうえで、総額人件費の適切な管理のもと、自社の支払能力に基づき決定することが原則。
- ・ 収益が拡大している企業は、設

備投資や研究開発投資、雇用拡大等とあわせ、定期昇給の実施や賞与・一時金への反映、諸手当の改定を含めた賃金の引き上げを前向きに検討することが強く期待される。「賃金の引き上げ＝ベースアップ」といった単純なものとはならない。ベアは選択肢の一つである。

補論 企業の持続的な成長に寄与する内部留保(利益剰余金)

■ トピックス

- 【人口減少社会への対応】
- 【採用選考活動開始時期の変更への対応】
- 【障害者雇用の推進】
- 【労働災害の未然防止】
- 【個別労働紛争への対応】
- 【物価動向と賃金の関係】
- 【グループ経営の進展と賃金交渉】

平成26年12月3日開催

「働く意義・学ぶ意味 ～次代のためのサイクル、順番である～」

関彰商事株式会社 代表取締役社長 関 正樹氏

「働く意義・学ぶ意味」を問うこと、そして講義の演題になるということは、あまりにも恵まれた環境で、働けることがあたりまえだと思っている由縁ではないかと感じます。県教育委員会委員として、茨城県立境特別支援学校を訪問した際、先生が「特別支援学校に通う児童・生徒達にとっては、生きるための全ての営みが働くということなんです」とおっしゃっていました。障害のあるお子さん方ですから、将来は一人で身のまわりのことをできるようにすることが大きな課題となります。朝起きること、学校に行くこと、掃除をすること、給食を食べること、勉強すること、眠ること、つまりは生活すること、生きて行くための全ての営みが働くことであると、生徒に伝えているとお話しでした。私はそのような考えに深く感銘を受けました。「働くということは、生きる」そのものであり、それを敢えて定義付ける必要は無いのではないかと考えています。

では、なぜ働くのか？

もし私が問われたら、単純に「順番だから」と答えます。皆さんが生を受けたのは、ご両親がいらしたからです。ご両親、ご家族が生計を立てて皆さんを

育てられ、学費も出していただいていることと思います。皆さんが学校に通い学ぶこと、アルバイトができるということは、そういう環境を作ってくれている人がいるということです。皆さんはこれから大学を卒業し、就職し、働きます。今度は皆さんが次代を担う子供たちのために、社会に役立つことをしていく。ですから単純に「順番だから」なのです。また皆さんは国立大学法人で学ばれており、特に税金の恩恵を受けて学ばれています。必然的にその恩返しをしなければならないわけで、国のため、地域のために役に立つことが必要だと思います。

我々企業における最大の社会貢献は、その地域における「雇用」だと考えます。今年も皆さんの先輩方を含む新入社員を迎えることができました。地域のお客様に当社の商品・サービスをご利用いただき、その積み重ねである収益から社員に給与を支給し、社員が消費という形でお金を地域に還元する。この一連のサイクルこそが地域社会、経済

に貢献しているものと考えます。そして、勤務する社員に、より働きやすい環境を提供すること、社員のチャレンジを応援することが私の大きな役割です。

皆さんもふだんいろいろな買い物をされるとと思いますが、地元には本社、本店のある企業、店舗の商品・サービスをご利用いただくことによって、消費という観点で地域社会、経済に貢献していると言えます。ネットショッピングばかりではなく、地元での購入をお願いします。

さて、学生時代は社会に出て「自分のため」から「社会のため」に何をすべきかを考えるための大切な準備期間です。多くを学ぶことが、自分の「引き出し」を増やすことにつながります。皆さんにとってこれからスタートする就職活動が有意義なものになり、今後ますますご活躍されることをお祈りいたします。



産業政策委員会

第2回会員ニーズ調査部会を開催

産業政策委員会(委員長 深澤正勝氏 日立セメント(株)取締役専務執行役員)の会員ニーズ調査部会(部会長 家次晃氏(株)日立製作所電力システム社グローバルビジネスマネジメント本部総務部長)は、1月28日(水)、経営者協会会議室において、第2回会員ニーズ調査部会を開催した。

開催にあたり、家次部会長より、「本日は、県との意見交換会進行方法と次年度の活動スケジュール並びにアンケート調査票についての協議と重要な部会

となる。これまでの皆様の経験より忌憚のない意見をお願いしたい。」と挨拶があった。

議事では、県との意見交換会の進行方法、平成27年度の会員ニーズ調査部会の活動並びにニーズ調査方法について協議が行われ、出席者からは、「県との意見交換会では、昨年の反省を活かし十分な意見交換が行えるよう時間管理が必要である」、「アンケート調査票には“地方創生”への期待・要望の声を吸い上げたらどうか」などの様々な

意見、提案が出された。

これらの意見を踏まえ、2月13日(金)に県との意見交換会が開催される。また、同日開催される第2回産業政策委員会で平成27年度会員ニーズアンケート調査について、審議いただくこととなった。



労働企画委員会

労働法セミナーを開催

労働企画委員会(委員長 館岡司氏 (株)日立製作所電力システム社日立事業所副所長)は1月13日(火)水戸京成ホテルにて、労働法セミナーを開催した。



本労働法セミナーは、当協会顧問弁護士をお務め頂いている大和田・谷田部法律事務所の大和田一雄弁護士に、実際過去に起きたトラブル事例に基づいて、どのような点がトラブルの原因となり、そのトラブルを回避するためにはどのようなポイントに留意すべきかを、全3回シリーズで学ぶ企画である。

全3回の第2回目のセミナーでは、賃金をめぐる各種の法律

問題、有期労働契約問題をめぐる法的諸問題、懲戒処分をめぐる法律問題を解説頂いた。

次回第3回セミナーは2月18日(水) 13:30～16:30、主な内容は①退職をめぐる各種の法律問題、②労働組合の基礎知識と合同労組(コミュニティユニオン)問題、③従業員の起こした交通事故と会社の責任についてであり、会場は水戸京成ホテルにて開催予定。

青年経営研究会

青年経営研究会が例会・新年交流会を開催

青年経営研究会(会長 磯崎寛也氏 (株)アイ・ティ・エイチ代表取締役)は、1月19日(月)、青研メンバーでもある大子町の「滝川館・豊年万作」にて新年交流会を開催、当日は会員32名が参加した。

当例会は、交流拡大委員会(委員長 大澤健司氏 (株)サンヨーホーム専務取締役)主催により、講演会と交流会のセットで開催された。

講演会では、青年経営研究会・副会長をお務めいただいている大曾根タクシー(株)取締役社長の塚本一也氏より「つくばエ



クスプレス 最強のまちづくり」と題してご講演いただいた後、新たに入会いただいたメンバーを迎え、懇親を深める交流会も併設した。

また翌日には、常陸大宮市の水戸グリーンカントリークラブ・山方コースにてゴルフコンペも行われるなど、盛り沢山のメニューでメンバー間の交流を深めることができた。

県北地区支部

日産自動車いわき工場を見学

県北地区支部(支部長 三浦利春氏 (株)茨城サービスエンジニアリング代表取締役社長)は1月22日(木)、日産自動車(株)いわき工場を見学した。

同工場は、“働く人の能力を最大に活かすヒューマン インテリジェント ファクトリー”をテーマに、1994年1月に稼働を開始した最新鋭の設備を導入

したエンジン生産工場。

当日は、従来自動化が困難であった工程にロボットを積極的に導入、資材受け入れから生



産、出荷までをコンピュータで統合管理するCIM (Computer Integrated Manufacturing)の説明を受け、その後、高品質・高効率な生産現場を見学した。

次回の県北地区支部の活動は、2月19日(木) 16:00～、五浦観光ホテル別館「大観荘」にて、「志賀秀之県議会議員との懇談会」を開催予定。

鹿行地区支部

本年度3回目となる鹿行地区支部役員幹事会を開催

鹿行地区支部(支部長 竹中弘明氏 新日鐵住金(株)鹿島製鐵所副所長)は、1月20日(火)、神栖市・鹿島セントラルホテル



において26年度3回目となる役員幹事会を開催、15名が出席した。

竹中支部長、替地享二副支部長(鹿島都市開発(株)代表取締役社長)出席のもと、友澤邦夫幹事長(株)トクヤマ鹿島工場総務課長)の進行により、本年度既に実施した事業の報告と、下期に計画されている経営セミナー(※右記参照)の具体化に

ついて協議された。

【経営セミナー】

テーマ：SNSを巡る企業リスクと法的知識・対応策

講師：フランテック法律事務所代表弁護士 金井高志氏

日時：平成27年3月5日(木) 14:00～16:00

場所：新日鐵住金 鹿島 人材育成センター(鹿嶋市光953-16)

支部合同事業

支部合同による視察会を開催 ヤマトホールディングス、日本航空を見学

例年恒例となる支部合同による視察会が1月23日(金)に開催され、ヤマトホールディングス(株)羽田クロノゲートおよび日本航空(株)機体整備工場の2ヶ所を視察した。26社40名が参加。

最初に訪れたヤマトホールディングス(株)羽田クロノゲートでは、始めにヤマトグループの歴史などについて伺った後、1階～2階にある「宅急便・航空便荷搬エリア」を中心に視察を行った。羽田クロノゲートは、陸・海・空すべての輸送モードを利用できる立地に誕生し、ヤマトグループのすべての機能を集結することによって「速く正確に届けるための仕組み」と「洗浄」や「印刷」「修理」「メンテナンス」など多彩な付加価値機能をもった新しい物流施設。従来のように在庫を滞留させるのではなく、常に物が流れ続け、流

れる過程で価値を付加しながら、アジアと国内のネットワークをスピーディーに結節させる最新鋭の物流ターミナルであった。

続いて訪れた日本航空(株)機体整備工場では、始めに日本航空の概要や飛行機の機体などについて伺い、その後、実際に整備士が機体を整備している姿などを視察した。機体整備工場は、日本と世界の空を結んできたJALのさまざまな史料が展示されている。展示エリアでは、JALグループのフライトを支える運航乗務員・客室乗務員・航空整備士など代表的な職種を紹介するコーナーがあり、例えば、運航乗務員だと実際に使われてきた操縦室に入ることができ、客室乗務員では、さまざまな国籍のJAL客室乗務員のアナウンスを聞いたり、実際に使用されていた客室乗務員専用のシートに着席

したりする体験ができる。また、格納庫付近では、滑走路に離着陸する飛行機を間近に見ることができる施設であった。



『会員増強運動2014』の状況

～ 900社の大台に向かって前進 ～

1. 1月の状況

1月は、支部役員・幹事の皆様、役員・委員会委員の皆様からのご紹介により、入会4社、退会ゼロ、前月比プラス4社の実績（前年度比63社の増加）で880社に到達しました。

年度当初目標を10社上回っている状況にあり、会員の皆様のご協力に感謝いたします。

2. 『会員増強運動2014』について

会員の状況（1月31日現在）

支 部 項 目	県 北	日 立	常陸・ 那珂	水 戸	土浦・石岡 つくば	取手・ 龍ヶ崎	県 西	古河・ 坂東	鹿 行	合 計		
25年度末 会員数	38	85	73	243	118	54	62	51	93	817		
入会数		10	6	16	13	12	10	2	9	78		
退会数	1	2	2	4		1	3	1	1	15		
会員数	37	93	77	255	131	65	69	52	101	880		
										前年度比	+ 63	
平成26年度目標					870					目標比		10

平成26年度は、協会の事業運営の指針であります「第7次中期運営要綱」の初年度にあたり、会員の皆様の相互啓発やビジネス交流の活性化を加速させるために、前年度に引続き『会員増強運動2014』に取り組んでおります。本部役員等に限らず、幅広く会員の皆様から、多々お知り合いの方をご紹介いただき、今年度目標については12月までに達成しました。

今年度の残り2ヶ月につきましては、「数は力なり」でこれまで以上に行政等に対する政策提言力の強化を図るために「第7次中期運営要綱」に掲げております『会員数目標1,000社（29年7月：創立70周年）』の早期達成に向けて、「会員数26年度末900社」の大台を新たな目標として、会員増強運動を継続しているところであります。

つきましては、会員の皆様におかれましては、当協会にご入会いただけそうなお知り合いなどがいらっしゃるいましたら、1社から結構ですので、是非お誘いいただき、右ページの「紹介票」にて事務局までご連絡いただけますようお願い申し上げます。

〔 ※ F A X のほか必要事項をご記載いただければ電子メールでも結構です。
メールアドレス：info@ikk.or.jp 〕

なお、「会員増強運動2014」の進捗状況等につきましては、この「茨城経協」を通じて、毎月会員の皆様へお知らせしてまいります。引き続きご協力のほど重ねてお願い申し上げます。

【会員増強運動2014】 入会見込先 紹介票

茨城県経営者協会 行き

FAX : 029-224-1109

御社名	
役職氏名	
TEL	

“会員増強運動 2014” の入会見込先として、下記のとおりご紹介致します。

【入会見込先の情報】

No.	会社名	電話番号	先方担当者（役職氏名）	連絡方法（○印）
1			役職：	直接連絡可
			氏名：	ご紹介者経由
2			役職：	直接連絡可
			氏名：	ご紹介者経由
3			役職：	直接連絡可
			氏名：	ご紹介者経由
4			役職：	直接連絡可
			氏名：	ご紹介者経由
5			役職：	直接連絡可
			氏名：	ご紹介者経由

【備考】

--

※恐縮ですが、コピー、ご記入の上、FAX くださいますようお願いいたします。

新入会員紹介

株式会社二葉科学茨城

■代表取締役社長 茂垣 康則



Data
所在地／小美玉市大笹 219-3
TEL 0299-48-1178
FAX 0299-48-1183
業種／熱処理装置製造・環境
試験装置の設計、製造
従業員／19名

Appeal point

当社は温度制御の技術を基に、熱処理装置・環境試験装置の設計、製造に取り組んでおります。車業界、電子部品関連など、熱処理や環境試験のニーズは多様であり、1つ1つの事案に真摯に対応しております。今後も温度制御技術をベースに各業界の発展に貢献して参ります。

株式会社ギブハウス

■代表取締役 海藤 美好



Data
所在地／笠間市鯉淵 6345-40
TEL 0296-78-2100
FAX 0296-78-2805
業種／事業所向けサービス業
(人事総務関連業務)
従業員／2名

Appeal point

弊社は、茨城県内の企業様を主な顧客に人材採用業務及び人事総務業務の支援をしています。雇用環境を取巻く最大の課題は、少子・高齢化です。茨城県は、広範囲に通勤できる労働力供給県、求職超過型という地域特性があり状況はより深刻です。こうした状況を踏まえ、地域密着の総合求人求職ナビ「伯楽倶楽部」を開設しました。障害者、中高年、女性、若年者、高校生、大学等の求職者が、働く意志と能力がある限り、地域で働くことができるよう取り組みます。

東京フード株式会社

■代表取締役 丹羽 弘



Data
所在地／つくば市上大島 1687-1
TEL 029-866-1587
FAX 029-866-1598
業種／業務用チョコレートの
製造、販売
従業員／500名

Appeal point

私どもは、チョコレート技術をコアとした食品素材メーカーとして製菓・製パンメーカー等を中心に、付加価値ある商品づくりをお手伝いする独創的な製品を開発/提供しております。製品の安全・安心を徹底追求しながら、1人ひとりが“お客様のために”を实践できるよう「人材育成」に力を注ぐとともに、自分たちの仕事や製品に誇りをもって働くことで輝くことができる社風を大切に、皆様に“感動”をご提供できるよう技術と信頼を高め続けていきたいと考えております。

東光拓商事株式会社

■代表取締役 大野 治夫



Data
所在地／つくば市東光台 4-18-6
TEL 029-847-1107
FAX 029-847-1104
業種／不動産管理業
従業員／5名

Appeal point

平成13年に父が他界し、その時に市街化区域の土地がかなりあった為、びっくりする程の相続税を納めることになりました。それで、土地の有効活用はないかと思い、同年10月に会社を設立しました。現在、会社・個人合わせて13棟(118世帯)のアパート、マンションを管理しております。その他、土地の貸付も行っており、今後は地域になくはないかと思われ高齢者向け賃貸住宅等も考えております。不動産業を通じて、世の中・人々に貢献できる企業である様精進して参りたいと思っております。

生活困窮者支援に関する新たな制度

茨城NPOセンター・コモンズ 常務理事 横田 能洋

○生活困窮者支援に関する新たな制度

昨年秋から、このコーナーでは、国が掲げる共助社会の考え方や、就職困難者やこどもの貧困、虐待やDVに関するNPOの活動を紹介してきました。今年4月から国の新たな福祉制度が動き出します。ひとつは介護保険の変更で、介護保険の対象から要支援の方々がはずれ市町村が中心となってどう介護予防や見守りの体制をつくっていくかが重要なテーマになります。もうひとつが、生活困窮者自立支援法という新たな法の施行です。こちらは増大する生活保護費を抑えるために、生活に困難を抱える人が保護を受けざるを得ない状況になる前に生活再建できるよう総合的に支援するものです。障害や病気、家庭内トラブル、借金など様々な課題を抱え、どうしていいかわからない人によりそい、課題を整理したり関係機関につなぐなどする自立支援相談事業と、家賃が払えない人に数か月間の家賃を支給する事業はどの自治体でも実施されることになりました。また、給料や年金を浪費してしまい困窮に陥りがちな人に家計管理を支援する事業や、貧困の連鎖を

ふせぐための子どもの学習支援事業も施策メニューに入っています。これらは各自治体の任意事業なので、県内のどのくらいの市が実施するかがひとつの焦点です。もうひとつの焦点は、就職困難者への就労訓練がどれくらい行われるかで、県内の事業所の取り組みが鍵となります。

○中間的就労を行う就労訓練事業とは

11月号で栃木のNPOが行っている「しごとや」(ひきこもっていた青年3人とトレーナー1人の4人で、2人分の多様な請け負い仕事を行いながら仕事経験を積む事業)も、民間による就労訓練プログラムの事例です。国は、障害者が福祉作業所などで行う福祉的就労と、民間企業での一般就労の間という意味で、中間的就労を地域の事業所で受け入れ訓練に協力してほしいとしています。福祉作業所よりは本格的な仕事をして収入を得たい(あるいは以前はしていた)が、ブランクがあるため一般就労の自信がない、という人がその対象になります。中間的就労には二つのパターンがあり、非雇用型と雇用型があります。まず非雇用型は、インターンにやや近く雇用関係は結ばずに仕事の経験を積むことに主眼が置かれます。雇用型は雇用契約を結びますが、まだ就労を続

ける上で個別の支援が必要な訓練段階です。そこで、県が就労訓練を行う事業所を認定する制度が新年度からスタートします。この認定を受けた事業所が、自立相談機関が作成した訓練計画にそって雇用する場合は、最低賃金以下で就労訓練をすることが可能となります。事業者には金銭的な支援はなく就労支援を行うスタッフを配置する必要が生じますが、従業員になる可能性のある人材とマンパワーを得ることができます。

今この中間的就労に最も関心が高いのは、人材確保に苦慮している業界、特に介護施設です。施設の中には、食事の配ぜんやベットメイク、清掃など介護資格者でなくてもできる仕事があります。そうした部分を訓練生が担うことで、介護職の負担が減り、訓練生も職場の経験をつみながら自信をつけていくことができます。訓練を通じて介護職を目指す人材も出てきます。即戦力を求めても、きつい仕事環境では人材定着は難しいでしょう。中間的就労のような多様な働き方ができるようにすることで、多くの人が働きやすくなることが期待できます。雇用という本業を通じた社会貢献のひとつの方法として、中間的就労の事例を今後紹介させていただきまますので、ご検討いただきたいと思います。

日本は、ヨーロッパ風になる欧化あるいは米国風になるアメリカナイズをして新しく文化を受け入れてきた。日本は明治維新以降、文明開化を一義としてきた。古いものをそっくり捨て去ったようでもある。

1. 和様

日本が日本であり続けるために伝承しなければならないことがある。古くからのしきたりや年中行事が日本人の心を育ててきたことを忘れてはならない。

習俗という言い方があるが、習慣や風俗のことである。しきたりあるいは日常の決まりきった行いを習慣といい、その時代や地域の特徴づける生活上のしきたりを風俗という。

和風は日本風、和様は日本に古くからある独特の様式である。現代の流儀のことを現代風とか今風あるいは今様という言い方をするが、これに対して、昔ながらの習慣や流儀のことを昔風あるいは古風という。また、日本の文化や文明は中国あるいは西洋から伝わったことも多くあるから、中国の様式のことを唐様といい、中国の風俗や制度に似ていることを唐風といい、西洋の様式を備えていることを洋風、ヨーロッパに様式のことを欧風と言う言い方もある。

2. 葬送曲

葬送曲とは、葬儀において遺体を墓地まで搬送する過程に対

応して作曲される行進曲の一種である。通常の葬送行進曲は、速度はやや遅めで、2拍子で書かれる。6/8拍子など拍子の中を3分割することは避けられていて、2のべき乗に分割されることが多く、明るく華やかな長調は避けられ、主に短調で書かれている。

2015年1月、日立製作所の副社長、後に、日本コロムビア社長そして斎久工業社長であった篠原忠彦氏の葬儀に参列させていただいた。葬儀会場である青山葬儀場には終始、葬送曲が奏でられていた。演奏は日立フィルハーモニー管弦楽団である。日立フィルハーモニー管弦楽団は、1995年7月に日立製作所の従業員とその友人達をメンバーとして発足し、茨城県日立市を本拠とする日立交響楽団に続く日立製作所第2番目のオーケストラとして活動している。篠原忠彦氏は、日立フィルハーモニー管弦楽団の団長であった。同氏は、都立戸山高校から東大を卒業し日立製作所に入社する。戸山高校の教育方針は、①自ら重んじ個性をのばす、②努力を尊び責任をはたす ③心を豊かに体を健やかにする、であるが、同氏の生き方に通じるところを思えばならない。リベラルアーツとりわけクラシックを好み、経営者であるとともに1人の文化教養人であった篠原忠

彦氏の葬送に相応しい葬儀であった。合掌。

3. シャボン玉消えた

野口雨情は茨城県にゆかりが深い。「シャボン玉」は、野口雨情作詞・中山晋平作曲の童謡であり、7音節×4行が2連、7音節2行が付属している。詩は、1922年、仏教児童雑誌『金の塔』にて発表された。いわき湯本温泉の湯本駅では、発車メロディに使われているし、常磐自動車道の中郷サービスエリアの下り線に歌碑が建てられている。

シャボン玉飛んだ 屋根まで飛んだ 屋根まで飛んで こわれて消えた
シャボン玉消えた 飛ばずに消えた 産まれてすぐに こわれて消えた
風、風、吹くな シャボン玉飛ばそ

雨情の長女への鎮魂歌が「シャボン玉」という説がある。1908年、雨情は妻のひろとの間に、長女「みどり」をもうけた。産まれて7日目に死んでしまった。雨情は長女の死を後々まで悔やんでいたという。

4. 弔う

送るには、死後に官位を授けるという意味合いがある。つまりは、弔うことは送ることである。

惜しみながら別れることが送

るである。葬送とは、死者を墓地に運ぶことをいい、去り行く死者に別れを告げることである。

死者に対する心を発露した容が合掌である。両方の手のひらを顔や胸の前で合わせて仏を拝むことを合掌という。

死は靈魂が死靈化することであり、儀礼によって肉体から分離させることである。通夜は死亡から野辺送りまでの一晚を決めて、近親者などが死者とともに過ごす。香典は、香典帳に記録し、代々保存されることになる。香典返しは、本来、香典が食料品であったことに由来し、調理したものの一部を贈り返す形をとっていた。

葬列は、遺体を葬地へ送るためのものである。葬儀屋による自動車運搬が一般化しているから野辺送りの葬送儀礼は連環していないが、地方では古風の葬列を組むことも稀にある。葬列を組んでいく遺族たちは、各人が何らかの役割をもち、遺族の中での地位を決定づけている。喪服は、遺族たちにとっては、喪の明けるまで着けているのが元来の形であるが、今では、当日と供養の日だけに限るようになった。一般に色は白と黒の二系統がある。伝統的には白色である。

忌み明けは、人の死後四九日間を中核や忌中とよんで、遺族は忌みの生活に服さなければならぬ。仏教では、七日ごとに追善の供養を行い、とくに七七、四十九には、盛大な仏事を行うことになっている。仏教の追善仏事を年忌という。鎌倉時代には、一周忌、三年忌、七年忌、一三年忌、十七年忌、二三年忌、二七年忌、三三年忌および五〇年忌が整えられた。亡くなった者の靈魂が年数を経

ていくうちに穢れを薄くし、次第に清まった強い靈魂に昇華していくという観念があり、最後には祖先神に合一するというものである。

一年の最初の満月の夜(正月)と真ん中の満月の夜(盆)は、古くから亡くなった人々の魂が訪れてくると信じられていた。

5. 送る

送別とは別れる人を見送ることをいう。送る人、送られる人、共々、幸多きことを願う。別れの画題として松と柏が使われてきた。「千代松の樹の・・・」、日本には古来よりクロマツ、アカマツ、ゴヨウマツなどがあり、長寿や節操を象徴するものとして松が尊ばれている。柏の木には葉守の神が鎮座するという伝説がある。送別に品物を贈るときには、松や柏の文様を描いた色紙を添えるのも風趣である。

同じ会社や官庁の組織の中で勤務地が変わることが転勤であり、退職は現職を退くことである。転勤も退職も送るや贈るが付きものである。送るには、時を過ごす意と去り行くものに別れがたくついて行くことの意がある。贈るは気持をこめて人に物を届けることであるが、現金よりは相当品が無難である。

(1) 送る心を容にする

時機をみて送る人が送られる人の前に進み出る。

① 2、3歩運んで近づき、1m程手前ですっきりと立つ(重と直)。

② 涼やかな眼差し(端)を置き、落ち着いた声かけをする。「お世話になりました」(静)。

③ それから、お辞儀である。腰から上体をほぼ真っ直ぐな線になるように「く」の字に倒して、腰で受けて制止し、倒したときよりもややゆっくりと上体を腰から起こす。

(2) 別れに適った動作がある

礼儀作法には、先礼後語、先語後礼そして同時礼がある。

① 先に、身を倒し、身を起して(屈体)から挨拶語を述べるのが先礼後語である。

② 先語後礼は先に挨拶語を述べ、それから屈体する。

③ 同時礼は挨拶語を述べながら屈体する。

礼儀作法に適った別れの動作は、先語後礼であるが、肝心なことは感謝の心を伝えることである。

(3) 別れを惜しむところを抑える

何事も十分心、七分身が動作の基本である。

① 十分心、七分身

心十分に起居振舞を控目にすることを十分心、七分身という。想いは熱く、構えは低く。

① ドタバタしない

十の思いを十五にも二十にもしようと動いて見せてもドタバタした印象だけ残ってしまい真意は相手には伝わらない。

② 共感を得る

十の思いを七で表現するから相手に共感を得られる。

③ 恰好がある

頭や手を強く動かす必要があるときには腰から下はどっしり(重)、強く足踏みするときには頭を静止する(直)と恰好がつく。

Seminar & Business

セミナー・事業等のご案内

＝詳細は、事務局までお問合せください＝

セミナー名	日時	テーマ・内容	講師	会場
ソーシャルリスク対策セミナー	3月5日(木) 14:00～16:00 4,000円	「SNSを巡る企業リスクと法的知識・対応」	フランテック法律事務所 弁護士 金井高志氏	新日鐵住金鹿島人材育成センター
環境先進企業見学会	3月9日(月) 14:00～16:00 無料	見学先：(株)大林組技術研究所本館テクノステーション ～国内初!!最先端の環境技術と省エネ技術を導入したエネルギー“ゼロ”ビルを視察～		東京都清瀬市
経営研究会	3月10日(火) 14:00～16:00 1,000円	アグリビジネスの現状と課題、可能性	久松農園 代表 久松達央氏	茨城県産業会館1F 研修室
人事労務セミナー	3月19日(木) 14:00～17:00 4,000円	旧来の「問題社員」から、新たな「不適合社員」まで『勤務成績・勤務態度不良社員』対応の法律実務	丸尾法律事務所 弁護士 丸尾拓養氏	茨城県産業会館1F 大会議室
鹿行地区支部労働問題研究会例会	3月23日(月) 10:00～12:00 2,000円	「採用していい人・いけない人」の見極め方 ～良い人材を採用する面接対策～	キャリアドメイン 代表取締役 谷所健一郎氏	新日鐵住金鹿島人材育成センター

問合せ 一般社団法人茨城県経営者協会
〒310-0801
水戸市桜川2丁目2番35号
茨城県産業会館11階
TEL 029-221-5301
FAX 029-224-1109
ホームページ <http://www.ikk.or.jp>
Eメール info@ikk.or.jp



「ともに、いきる」を実現する大学
茨城キリスト教大学

文学部	生活科学部	看護学部
●文化交流学科	●心理福祉学科 <small>(2013年4月 人間福祉学科より名称変更)</small>	●看護学科
●現代英語学科	●食物健康科学科	●経営学科
●児童教育学科児童教育専攻		
●児童教育学科幼児保育専攻		

携帯から簡単アクセス▲

〒319-1295 茨城県日立市大みか町6-11-1 JR常磐線大塚(おおみか)駅隣接
<http://www.icc.ac.jp/>  <http://www.icc.ac.jp/m/>

「がんばっぺ！茨城」企業説明会参加企業募集!!

平成28年3月大学等卒業予定者を対象とした企業説明会を下記日程で開催します。

水戸会場	3月23日(月)	ホテルレイクビュー水戸(水戸市宮町1-6-1)
	3月24日(火)	13:30 ~ 16:00 (募集企業数 各日50社程度)
土浦会場	3月25日(水)	ホテルマロウド筑波(土浦市城北町2-24)
	3月26日(木)	13:30 ~ 16:00 (募集企業数 各日40社程度)

◆参加対象企業

茨城県内に所在する事業所又は就業場所のある企業であって、平成28年3月大学等卒業予定者の採用予定のある企業となります。

◆募集期間及び申込先

平成27年2月23日(月) 10時から平成27年2月27日(金) 17時まで

申込みは茨城県労働政策課ホームページからお願いします。

なお、上記4日間の開催日のうち、1社、1開催日の参加となります。

【お問い合わせ】

茨城労働局職業安定部職業安定課 TEL 029-224-6218

茨城県商工労働部労働政策課 TEL 029-301-3645

茨城県内各ハローワーク

※この企業説明会は、平成28年3月大学等卒業予定者からの就職・採用活動開始時期の後ろ倒しに伴い、平成27年3月から開始される広報活動（これまでは12月より開始）の一環として開催するものです。積極的な参加をご検討ください。

地域のために 未来のために

筑波銀行は、より充実した金融サービスのために。

そして、もっと豊かな日々の暮らしのために。

地域エリアの皆様とともに、

未来に向かって力強く前進いたします。



筑波銀行は地域復興支援プロジェクト「あゆみ」に取り組んでいます。



<http://www.tsukubabank.co.jp>

tsukuba 筑波銀行
Tsukuba Bank

心と心のつながりで価値・創造・提案企業を目指します

機械・工具・伝動・管材

OSC 小川産業株式会社

<http://www.osc-web.co.jp/>

【OSショップ】YAHOO店・楽天市場店

■本社 北茨城市磯原町本町3-1-8 ■つくば出張所 つくば市北条4679-1
0293-42-1200 029-850-7500

心を込めて、信頼できるカーライフ
茨城トヨタ

PRIUSα



HYBRID Series プリウスα

茨城トヨタ自動車株式会社

水戸市千波町1887 〒310-0851
TEL 0120-090110
<http://www.nakama-online.jp/>

Drive Your Dreams. 人、社会、地球の新しい未来へ。



【安心】の東栄グループ 機械・資材・工具・溶接機械

東栄機工株式会社

<http://www.toueikikou.co.jp/>

本社 〒314-0116 茨城県神栖市奥野谷6129-18

TEL (0299) 96-6023(代) FAX (0299) 96-5630

ひたちなか営業所 〒312-0004 茨城県ひたちなか市長砂字塙123-2

TEL (029) 219-5577(代) FAX (029) 219-5588

東栄グループ

工業用ファスナー・ボルト

産業機械レンタル・修理

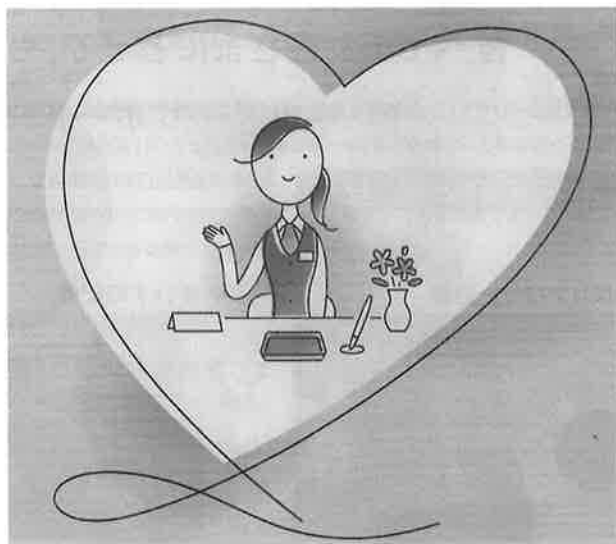
プロスパー洗洋株式会社 リペア・カサハラ株式会社

<http://www.neji-pros.jp/>

〒314-0116 茨城県神栖市奥野谷6129-19 〒314-0116 茨城県神栖市奥野谷6129-16

TEL (0299) 94-3366 FAX (0299) 94-3666 TEL (0299) 97-1050 FAX (0299) 97-2776

人に優しい銀行をめざして



常陽銀行はどなたでも
ご利用しやすい銀行を
めざしています。

ベストパートナーバンク



ぜひ一度サイトをご覧ください！

採用支援サイト

【就職MAP】 2016年度版 (現3年生向け) オープン 掲載申込受付中

<http://www.shumap.jp/>

For キャリア採用 (中途採用)
For パート、アルバイト採用
にも活用頂けます！

- ①求人情報をキレイ、自由、簡単に掲載します。
- ②煩雑な操作は必要ありません。
- ③無料です。(経営者協会会員に限ります)

【ご掲載までの流れ】

[お申し込み]→[お打合せ]→[求人情報の加工]→[CHECK]→[サイト公開]

※下記「掲載申込」に必要事項をご記入の上、FAXまたはE-mailにてお送り下さい。

運営 一般社団法人茨城県経営者協会

〒310-0801 茨城県水戸市桜川2-2-35 産業会館11階
TEL 029-221-5301 FAX 029-224-1109 E-mail info@ikk.or.jp
就職MAP茨城版 <http://www.shumap.jp/>

掲 載 申 込		FAX	029-224-1109
		E-mail	info@ikk.or.jp
会社名			
申込御担当者 役職名・氏名			
連絡先 (TEL)			

県内5金融機関との連携による

茨城ものづくり企業交流会 2015



金融機関一押しのも
のづくり中小企
業約『100社』
が展示

入場無料

平成27年 2月26日(木)

12:30~16:30

水戸プラザホテル

2階「ボールルーム」
(水戸市千波町2078-1)

[共催]茨城県信用組合、常陽銀行、
筑波銀行、水戸信用金庫、結城信用金庫
(社名50音順)